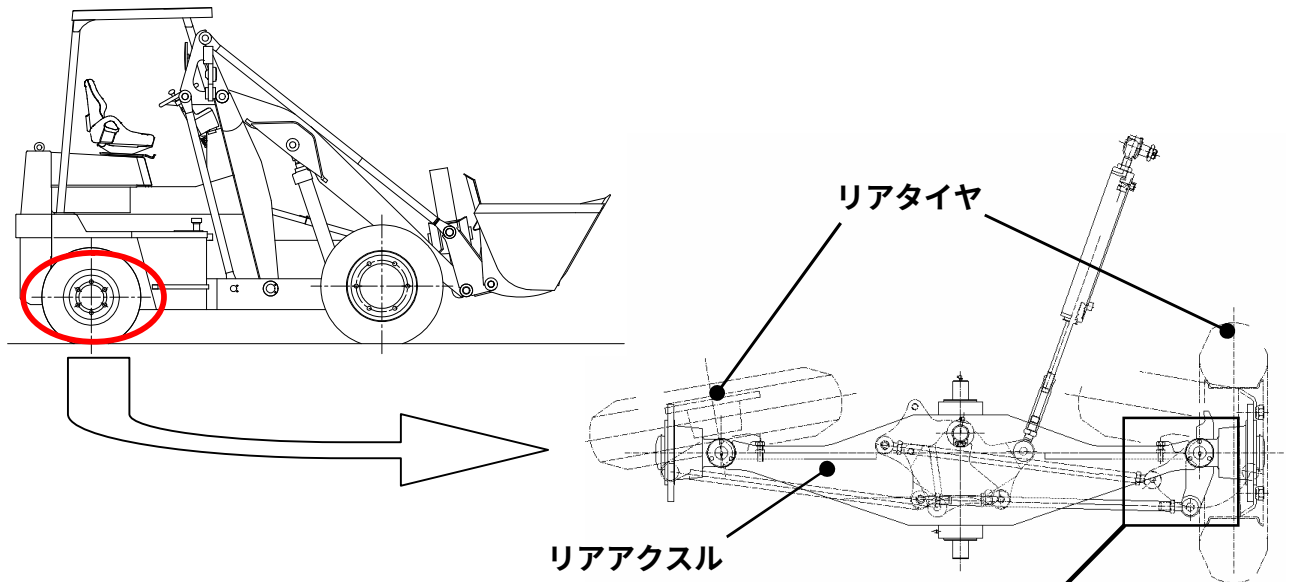
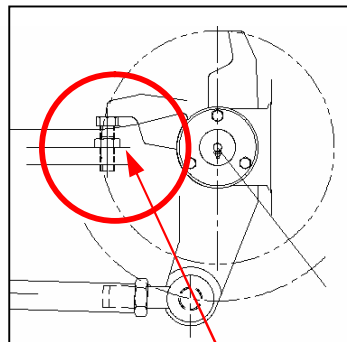


改善箇所説明図



【基準不適合発生箇所】

製造設備の管理不備により、かじ取り車輪の操舵範囲を制限するリアアクスル操舵ストップボルトの位置が不適切となったため、ストップボルトとしての役割を果たさず、最大操舵時にリヤタイヤがリアアクスル本体と接触する場合がある。そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、タイヤが破損するおそれがある。



リアアクスル操舵ストップボルト

【改善措置内容】

全車両、リアアクスル操舵ストップボルトを大型のボルトに交換する。

改善実施車は識別のため、対策ボルト根元に白ペンキでマーキングする。

